



神奈川高齢者生協機関紙 2021年1月号 NO.192

発行責任者 星野 宗吾

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

Eメール kanagawk@roukyou.gr.jp

神奈川高齢者生協

検索

2021年 年頭のご挨拶

神奈川高齢者生活協同組合

理事長 星野 宗吾



貧困、孤独、病い、宿命からの解放へむけて・・私たちにできること

新年おめでとうございます。神奈川高齢者生協を代表して、利用者、組合員、職員の方々に新年のご挨拶を申し上げます。

旧年は、新型コロナウィルス拡大が地球全体に及び、感染・死亡者数は第1波から第3波へと拡大の一途を辿り、今なおいつ終息するのか先が見えない状況が続いています。外出自粛、大きな声で話さない、歌わない、距離を保って座る、消毒、マスク着用、様々なイベントの中止、Zoomによる会議、自宅でのテレワーク等、これまで経験したことのない日常生活のパターンを余儀なくされています。

おひとりお一人が、この困難から一刻も早く解放されることを願ってやみません。

約50年前、私は大阪の職場で働きを共にした片桐ユズルさん（英文翻訳家、意味論学者、詩人、ベ平連活動家）から、サミュエル・バトラー（1835-1902、英國ビクトリア朝時代の小説家）の「エレホン」という架空小説を紹介されました。病気＝罪、ととらえられた架空の世界を描いています。それはとても恐ろしい世界です。なぜなら、病気になると監獄に入れられる。病気を隠さざるをえない、隠さないと人間としての生活ができない。エレホンの世界は架空の世界ですが、人間の病気に対する嫌悪感は罪と結びつけやすい。今回のコロナ禍で営業自粛に応じなかつた商店などを過剰に糾弾する自粛警察が横行しましたが、一部で犯罪にも近い処罰感情が高まつたことは事実です。

高齢者、障害者の単身生活者は、私たちの身边に多くおられます。こうした方々は、貧困、孤独、病いと闘っておられる方が多いです。私は、日常の仕事として、障害者の生活相談、就労相談、グループホームの管理者をしています。先日もほとんど寝たような状態の方から「さみしい、何のために生きているのか分からぬ。死んだ方がまし。毎日がつらい。一人で友達もなくくらしている」と相談を受けました。「さみしいと思っているのはあなただけではありませんよ。外見上は幸せにみえていても心の中は全然幸せになっていない人もいるし、外見上はとても大変そうで幸せとほど遠いと思われる人が、実は心はとても満たされている、という人もいますよ。気持が前向きになれたらしいですね。」と話しました。一瞬かもしれません、その方の顔が輝いてみえました。今年も頑張っていきましょう。

「ケアステーション希望」が移転・拡張しました！

ケアステーション希望（藤沢市）が、2020年12月13日に新事務所に引越しました。旧事務所から30m程善行駅寄りの場所です。事務所面積も、倍以上の50m²と広くなりました。2013年5月1日に開設した当初は、「事業所を大きくして、早めに引越しを！」ということで、ワンルームマンションの1室を借りてのスタートでした。スタートから7年。今年度は利用高も前年度から1.5倍に伸びし、300万～340万円/月利用高の中規模事業所に成長、働く職員も増えました。念願だった事務所移転も果たし、2021年1月からはさらに大きく飛躍する展望が開けています。所長をはじめ、立ち上げメンバーやサ責の夢も膨らんでいます。



新事務所内で。右端奥が中本所長。

ケアステーション希望所長 中本 郁美

早いものでケアステーション希望に入職し2年半が経とうとしています。

面接に伺ったとき、玄関で田中秋子さんと三澤正弘さんにすれ違い、その時に私に向けられた笑顔があまりにも温かく『ここで仕事ができるといいな』と思ったことが思い返されます。

サービス提供責任者（サ責）として勉強し、管理者となり1年半になろうとしています。知識も実力も所長としては、まだまだ未熟でどうしたものかと頭を抱えながらスタートしましたが、今でもまだ頭を抱えています。それでもここまでやってこられたのは本部の皆様、ヘルパーの皆様、移送や孫の手の皆様、そのほかケアステーション希望に関わってくださっているたくさんの皆様のおかげだと切に感じております。

7年前に三澤さんらが中心となり、善行にケアステーション希望が立ち上がったと聞いております。狭い部屋でしたが両手をいっぱいに広げ、着々と地域に根付き、『ケアステーション希望さんだからお願いしたい』と言っていただけるようになりました。7名のヘルパーさんが増え、事務のボランティアさんも来ていただけるようになりました。

人の出入りも増えるようになり、あまりにも狭くなつたため、この度広い事務所に引っ越しをさせていただきました。おかげさまでこのご時世、密になることなく安心して仕事ができるようになりました。

今は訪問介護事業所の事務所としてですが、スタッフ一同『こんなことがしたい』『あんなことがしたい』と夢は大きく広がっています。

また、うれしいことに、今現在希望でお仕事をしてくださっているヘルパーさんのご縁で、新年からは、サ責・ヘルパーさん合わせて4名をお迎えすることができました。そして、今までヘルパーさんとして活躍してくださっていた方が、サ責としてお仕事をしてくださいます。

たくさんの方の力で、大きくなりつつあるケアステーション希望。頼りない所長ですが皆様のお力を借り、利用者の方と安心して地域で過ごしていくことのできる事業所として成長し、夢を持ち続けたいと思っております。

皆様、今後ともご指導をよろしくお願ひいたします。

新事務所前で。後列の4人の方々が、1月から一緒に働く仲間です。



ケアステーション希望の新しい仲間をご紹介します。

どうぞよろしくお願ひします！！

新しい利用者の方に早く慣れ、希望の戦力になれるよう頑張ります。

非常勤介護職員



太田 則子さん

利用者の方が自分らしく生活できるよう、少しでもサポートを出来ればと思っています。



非常勤介護職員



渡邊 妙子さん
非常勤介護職員

非常勤介護職員

利用者の方々にごく近い年齢ではありますが、これ迄、二十年余り福祉の仕事に携わり培った経験を活かし、助けを必要としている方々に温かく寄り添い、自分自身もまた成長していきたいと思います。

サービス提供責任者
(非常勤)



佐藤 滝代さん

非常勤介護職員



引木 綾さん

利用者の方のお気持ちに、寄り添ったケアが出来たらと思っています。

新規事業開拓課
業務を開始しています。

これまで手狭で、ご不便をおかけしておりましたが、ゆつたりとしたスペースが確保されました。益々の発展を期待してまいりましょう。常任理事会では、引き続き、別の移転計画を検討しております。

新しい職員の皆さん、神奈川高齢者生協へのご入職、おめでとうございます。

星野宗吾理事長からのメッセージ

訪問介護事業所、障がい者総合支援事業所のケアステーション希望は、十二月十三日（日）、事務所移転を完了し、翌日から新事務所での営業を開始しています。

これまで手狭で、ご不便をおかけしておりましたが、ゆつたりとしたスペースが確保されました。益々の発展を期待してまいりましょう。常任理事会では、引き続き、別の移転計画を検討しております。

これから、どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめまして一月からサービス提供責任者として働かせて頂くことになりました。高橋ひとみです。訪問介護の仕事は希望に来て初めての経験のため、わからない事が多く、色々と教えて頂きながら皆さんの戦力になれるように頑張りたいと思っています。



サービス提供責任者
(非常勤)



高橋 ひとみさん

10~11月 生協強化月間に取り組みました！！

2020年度生協強化月間は、新型コロナウイルスの感染対策の中で行われました。例年、組合員や地域の方が顔を合わせ、集まる楽しい企画や「つどい」「周年記念行事」等を開催していましたが、今年度は残念ながら、開催できませんでした。楽しみにされていた組合員の方もおいでになったと思います。申し訳ありませんでした。月間中の加入・増資などの結果は以下の通りでした。ご協力ありがとうございました。

地区	事業所名	月間 加入目標	月間 加入者数	月間 出資・ 増資目標	月間 出資・ 増資口数
川崎北	はなみずき	9	2	148	119
川崎南	川崎中部	7	14	94	90
横浜		3	1	22	9
相模原	あやとり	8	16	90	177
	デイあやとり	7	3	140	137
藤沢	希望	4	1	28	38
三浦半島	元気	6	1	85	55
平塚	たむら	18	4	157	225
	たむら通所	6	1	75	66
伊勢原	いたど	4	17	723	241
	いたど通所	4	17	106	121
厚木	森の里	2	7	45	69
生協合計		78人	84人	1713口	1347口



新規組合員の皆様へ歓迎と感謝のご挨拶

理事長 星野 宗吾

10月1日から11月30日までの2ヶ月間にわたって展開された生協強化月間の成果として、84名の方が新規組合員に加入されました。組合員として地域の方々の命と暮らしを支えていく大切な働きに共感し、出資していただいたことに歓迎と感謝を申し上げます。生協は、博愛の精神の実践者、賀川豊彦ら社会運動のリーダー達によって拡がっていった運動体であり、事業体であります。組合員あっての生協です。今後も引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

訃報

さがみはらケアステーションあやとり所長兼務理事の星谷明さんが、12月16日夜、お亡くなりになりました。2020年7月にあやとりの所長・理事に就かれ、事業所や福祉有償運送の発展のために奮闘されていた途上のご逝去でした。志半ばでお亡くなりになったこと、御無念のことと思いまます。星谷さんのご冥福をお祈りいたします。

専務理事 矢吹 美樹

公告

住所不明となっている組合員の方を、定款に基づいて、 「みなし脱退」として整理させて頂きます

2020年11月26日第4回理事会の議決に基づいて、転居などで住所が不明となっている組合員の方を、2021年3月31日付をもって「みなし脱退」とさせて頂きます。該当する組合員は下記の方です。ご本人、もしくはご家族から住所変更や、「法定・自由脱退」などのお申し出があれば、「みなし脱退」を取り消し、お申し出いただいた通りに変更させて頂きます。

組合員の皆様へお願い

転居先などをご存じの方は、



生協本部（045-663-8825）までご連絡をお願い致します。

(敬称を略させて頂きます)

地区	みなし脱退予定組合員のお名前
川崎南	福田 喜久雄、中村 秀子
川崎北	渡邊 美千代、竹中 保子、七海 明、桜井 妙
横浜	小泉 一朝
相模原	井水田 久子、村田 定政、瀧音 信子
藤沢	永井 照子、小川 ミチ、吉岡 久枝、小泉 譲
平塚	千々和 クニエ、友枝 茂隆、津田 タカ、目黒 通泰
三浦半島	松下 修、三浦 長作、石渡 里子、野村 晴亀
伊勢原	八木 しげ子、湯川 文子、橋本 信子、阿部 サキ 新井 広、高橋 進

理事会たより

2020年度第4回理事会 11月26日 13時30分～15時42分 会場:本部会議室

議決事項



1. 2020年度みなし脱退処理組合員名簿

住所が不明となっている組合員 28名を、定款に基づいて「みなし脱退」の手続きを行うことを決めました。「かがやいて」1月号で公告し、ご本人や家族からのお申し出があった場合は、ご希望する手続きを行います。「みなし脱退」は年度末に処理させて頂きます。

2. 日本高齢者生協連合会からの「2021年3月31日付脱退」の通知に対しての対応

2019年12月4日付けで脱退予告し、2020年8月3日付けで日本高齢者生協連合会（以下連合会）に提出した「2020年3月31日付脱退通知」に対し、連合会より「2021年3月31日付けで脱退対応する」旨の通知（10月2日付）が届きました。神奈川高齢者生協としては、①連合会定款に沿った自由脱退の手続きを踏んでいること②脱退予告から脱退までの期間が1年以上となることは、生協法第9条2項に抵触する運用であることから、「2020年3月31日付脱退」であることを改めて連合会に通知することとしました。

3. ケアステーション希望の事務所移転

藤沢市のケアステーション希望は、利用の急拡大に伴い、事務所の移転拡張が必要となったため、現事務所（21m²）から50m²の新事務所へ移転することを決めました。

主な協議・報告事項

1. 2020年度上半期のまとめと下半期の課題

2020年度上半期利用高は25,282万円、前年度比102%でした。経常剰余は前年度と比べ641万円程改善、558万円の黒字となりました。経常剰余上半期予算差は342万円の超過となっています。人材確保や加算の積極的取得などによる改善です。この結果を受け、各事業所の下期の取り組み課題を明確にし、やりきっていくことを確認しました。

2. 2020年度冬季賞与及び処遇改善一時金の支給について

4～10月累計剰余は予算を超過達成していますが、今後の新型コロナウイルス感染急拡大による利用自粛等の影響を勘案し、常勤職員、非常勤職員とも予算通りの支給としました。シニア職員・孫の手の方、福祉移送ドライバーはクオカード支給としました。

経営報告 2020年度11月の経営結果

組合員数 11月末組合員数 3,134名

4～11月累計加入数189名、同脱退数174名。累計計画111名に対し15名の実増。

出資金額 11月末出資金額 3,870万円

4～11月累計増資額389万円、同減資額201万円。

累計計画322万円に対し188万円の実増。

利用高 11月 4,422万円 予算比100.8% 前年比104.8%

4～11月累計実績34,267万円 予算比99.0% 前年比103.7%

経常剰余 11月 118万円 予算差 182万円

4～11月累計実績942万円 予算差627万円

利用高は予算未達成ですが、剰余は超過達成となりました。安定的に剰余を生み出せる経営改善が進んできています。